

よくばり女子 必見情報! 《らうきん》で女子力UP!

ここだけは
チェック!

彼と結婚とお金

Part 3

3回シリーズの最終回です

女性メンバーで作る

cheer's
プロジェクトI

cheer's
プロジェクトII
間もなくスタート

女性の活躍を応援するプロジェクトとして、2014~2015年度に掛け、女性職員8名で作るcheer'sプロジェクトIを発足し、「きらりUPキャンペーン」を展開しました。
(「きらりUPキャンペーン」は2016年1月29日(金)で終了)

cheer'sプロジェクトIでは、20~35歳の働く女性を応援することをコンセプトとして展開してまいりましたが、今般、新たなプロジェクトとしてcheer'sプロジェクトIIを間もなくスタートさせます。

cheer'sプロジェクトIIは、新たに選抜した女性職員で構成し、主に35歳以上の「子育て・共働き」の女性を応援する商品・サービスを検討する予定です。

今後のミーツでは、cheer'sプロジェクトIIの動きを引き続き紹介していきます!



共働き夫婦の家計管理

毎月決まった金額をお互いに負担しあう方法で、右図のように口座を、目的に応じて複数にわけて管理すると効果的です。よい点は、話し合っただけの金額を、お互いに負担しあう形になるので不公平感がなく、さらに生活費や余暇・予備費が共通口座で管理されるため、収支の流れが透明化されるところにあります。

家計管理は手段であり、その目的は2人がめざすライフプランを実現することにあります。2人の新しい生活を、より実りあるものにする手段として、お財布をひとつにしてがんばってみてください。



「共通財布型」

家計管理のイメージ



- 貯蓄用口座、生活費口座、余暇・予備費口座の3つを用意する
- 子供を含めた家族のライフプランに沿って、貯蓄の目標額を立て、最初にそれぞれの貯蓄用口座に入金する
- 2人の生活費口座には、1ヶ月分の食費や水道光熱費、住居費などの基本生活費をお互いに入金する
- 貯蓄、生活費を除いて、余ったお金を余暇・予備費口座に入金する
- 余暇・予備費は個人の小遣いだけでなく、2人共通の出費に対応できるお金を確保する
- お互いが拠出する金額は、収入額などに応じて、話し合っただけで決める
- 個人のお小遣いは、その範囲を明確にした上で金額を決定する
- すべての共通管理口座は、お互いがいつでも確認できるようにする